

# 芭蕉布ができるまで

①



## 芭蕉を伐採して皮を剥ぐ

- 鎌で芭蕉を切り倒し、1枚ずつ手で皮を剥ぐ。
- 4～5cmの幅に皮を裂き、表皮と裏皮に剥がす。
- 表皮3枚くらいを3つ折りに束ねる。(パシヤタバイ)

②



## 皮を繊維にする

- パシヤタバイを大釜に入れて灰汁で約2時間煮る。
- 煮えた皮を竹ばさみでしごいて繊維を取り出す。
- 繊維を竿にかけて陰干しして乾燥させる。

③



## 繊維を繋ぐ

用途にあわせた太さに手で繊維を割いて繋ぐ。繋いだ糸の端は短く切り、機に引っかからないようにする。

④



## •繊維に撚りをかけて糸を作る。

- 繋いだ繊維を糸車で撚りをかけ、糸にする
- 1着の着物を作るのに与論島1周(約22km)以上の芭蕉糸が必要です。
- 糸は米ぬかを入れた湯で15分間くらい煮て、水洗いした後に、干してアクと渋を十分抜く。
- 糸を再度、糸車にかけて縦糸と横糸を別々に管に巻く。

⑤



## •整経(地機にかける前の準備)

- 縦糸は杵(かせ)に掛けてアゼを作る。
- その後、アゼ竹とおさ歯を通して巻き取る。

⑥



## •布を織る

- 縦糸を機に設置する。
- 箆通して織る。